

「父母との集い」で 感じたこと

父母
インタビュー

ご子息・ご息女の学生生活について知ることができる「父母との集い」には、

大学の基本理念や学科の教育目標、キャンパス内の施設や雰囲気など、

実際に大学へ足を運ぶからこそ得られる情報がたくさんあります。

下記のインタビュー記事は、6月に開催した「父母との集い」に参加された

保護者の方にお話を伺ってまとめたものです。

ご協力ありがとうございました。

2023年11月の
父母インタビューは
こちらから



1

工学部
機械工学科2年生のご両親

学業に興味にと 楽しそうな大学生活。

午後から始まる学科説明会の前に
学食無料体験を楽しんできました。選
んだメニューは息子が勧めてくれた唐
揚げ定食。ボリュームたっぷり、なか
なかおいしかったです。昨年は「父母と
の集い」浜松会場に参加しました。そ
の際に、大学生活で力を入れたことⅡ
「ガクチカ」としてアピールできるよう
な課外活動に参加しておく、就職活
動時に困らないというアドバイスがあ
りました。学年毎に種々のイベントが
豊富に用意されているようですので、
息子にも「何かやったほうがいいよ」と
口酸っぱく言っているのですが、本人は
趣味の「推し活」に夢中です。週3日間
は講義に集中し、ほかの日は日本中を
飛び回っています。先日は、福岡空港か
らLINEで写真を送ってきました。
今日も、せっかくだから下宿先に寄り
たいと連絡したら、大阪にいと返事
が来たんですよ。月に1度は帰省して
いるので心配はしていませんが、ちょっ
と羽を伸ばし過ぎかな。

2

工学部
ロボット理工学科4年生のご両親

息子が歩む道のりを 見守っています。

4年生になってから、息子は毎日の
ように企業の採用試験に出掛けてい
ます。帰宅後は、「この会社へ行ってい
たよ」「今日の面接は僕一人だったみた
い」などと報告してくれます。就職先
について私たち両親からアドバイスした
ことはありません。就職観が異なるで
しょうし、自分自身で方向性をきちん
と定めて頑張っているのですから、口出
しをしないで見守っています。本人は、
内定の連絡があったらお受けする企業
をすでに決めており、ゴールが見えてい
る様子。その後は卒業研究に没頭した
いと言っていました。就職先が決まった
ら、やりたい研究に思いっきり打ち込ん
で、春から晴れて社会人としての生活
に切り替えていってほしいです。私たち
が「父母との集い」へ来ることも今年で
最後になります。成績などで心配する
ことがなかったので個別面談への参加
もなく終わりますが、毎年キャンパスの
雰囲気を味わうことができて楽しかつ
たです。

いよいよ就職活動が スタートします。

私(※お父様)は、中部工業大学時代の卒業生です。数十年も経つとキャンパスの様子もかなり変わるものですね。今日は夫婦揃って「父母との集い」の学科説明会に参加しました。現時点で修得しておくべき単位数や就職についてなど、親として知っておきたい情報を得ることができました。息子は試験のたびに「今度こそダメだ」と嘆いています。単位を落としたことはありません。ただ、簿記の検定試験では思うように結果が出ないらしく、2級合格を目指して勉強中です。就職活動の強みとしてIT系の資格も取得しておきたいと頑張っています。先日は、インターンシップ先に提出する履歴書を「これでいい?」と見せてくれました。進路については「大企業より中小企業がいいな」と口にしてはいた時期もありましたが、具体的には定まっていなかった様子です。いよいよ始まる就職活動。自宅から離れたところのない息子にとって、大きな成長の機会になりそうです。

「予想外」の未来を 選びとってほしい。

「父母との集い」は、私たち両親が揃って中部大学を訪ねる初めての機会となりました。とても恵まれた学習環境だと感じています。今日の収穫は、全体会で成績評価係数(GPA)の知識を得たことです。まだ1年生なので成績表をもらったことがなく、息子も学修到達度が数字で表されることは知らないと思います。帰宅後、報告がてら話してみるつもりです。中部大学には中部大学第一高校からお世話になっています。息子は、高校主催の中部大学説明会で国際学科を訪ねた際に、急に理系から文系へと進路を方向転換しました。少人数制で先生との距離が近い学修体制が決め手になったようです。テンション高く報告してくれたことを憶えています。留学にも前向きですし、自分でやりたいことをどんどん見つけていってほしいですね。息子の選択は私たちの予想を超えることが多いので、これからも「そう来たか」と驚かせてほしいです。

将来について話す 良いきっかけに。

ちょうどタイミングが合ったので夫婦で参加しました。そろそろ就職活動を視野に入れる時期です。これから進んでいく道を娘と話す、良いきっかけにできればと思っています。中部大学はオープンキャンパスも積極的に行うなど、外に開かれた印象のある大学です。最近は都市型キャンパスが増えているようですが、自然豊かな環境で学べるのはいいことだと感じます。自身の学生時代を思い出しながら学内を散策しました。娘は勉強だけでなく、アルバイトやダンスサークル、そして恋愛にも頑張っている様子。とてもいい友人関係が築けているようです。興味のあったメディアやコミュニケーションを学ぶ環境としても、さまざまな学部が集う総合大学ならではのメリットがあると思います。いろいろな考えの人と出会い、接することで学びを深めてくれたらいいですね。持ち前のコミュニケーション能力が活かせる仕事が見つかることを願っています。

将来を見据えて 納得のいく就職先へ。

生き物が好きで、環境問題にも関心があった息子が選んだのが環境生物科学科でした。静岡からの進学で、友人が一人もない新たな環境に飛び込むということで心配していましたが、入学式で意気投合した学生さんとすぐにLINE交換をして講義選択の情報交換をしたそう。3年生になった今ではたくさんの友人に囲まれ、充実した大学生活を送っているようです。「父母との集い」には毎年参加し、昨年は個別面談もしました。当日の相談だったので、急なお願いにも丁寧に対応いただきました。中部大学は就職率がよく、サポートも手厚いので安心です。資格のサポートも充実している様子ですが、その資格が将来の自分にどう役立つのかまでイメージできるような情報を発信いただけるとさらにいいのかなと感じます。息子は静岡へのUターンを望んでいるようですが、場所にこだわらず、将来をしっかりと見据えて納得のいく就職先に進むことを期待しています。

救急救命士の夢が

叶いますように。

私が大学生の頃は親がキャンパスに足を運ぶ機会はなかったのですが、おもしろい取り組みですね。昨年は全体会と学科説明会に出席し、今年は個別面談も予約しました。救急救命士の資格取得を目標に中部大学に進んだ息子。入学を機に一人暮らしを始めたので親子の会話は減りましたが、「父母との集い」を通じて大学生活の様子を知ることができています。2年生ということ、国家試験に向けた具体的な準備がスタートします。個別面談は「親としてどのようにサポートすればいいのか？」といったアドバイスをいただける貴重な機会だと感じています。息子には在学中にいろいろな人と関わって、誰にでも優しくできる人間性を養ってもらいたいですね。中部大学には、さまざまな取り組みを全国区でアピールすることを期待しています。今日はフヨウの花から醸造したという中部大学のオリジナル日本酒も買ったので、その味も楽しみにしています。

教育実習が

かけがえのない経験に。

昨年から「父母との集い」に参加しています。娘は小学校の先生になることを目標にしているため、今年は個別面談を予約して愛知と岐阜の教員採用試験の違いを伺いました。ちょうど先日、母校での教育実習を終えた娘。知っている先生もいらして、期間中ずっと楽しそうにハツツとしている姿がとても印象的でした。実習終了後、たくさん生徒さんが自宅に訪れて手紙やお菓子をプレゼントしてくれ、その様子を私も感動しました。私から見ればまだまだ子どもでハラハラすることもありますが、きちんと成長しているんだなと嬉しくなりました。姉とのルームシェアを通じて、家事もそれなりにこなせるようになりましたね。「なりたて自分」の理想像があり、今の自分をしっかりと自己分析できているのが娘のいいところ。誰とでもフレンドリーに接することができる性格を存分に生かして、みんなから愛される素敵な先生になつてほしいです。